

# 井上ひろし 市政相談所だより

大阪市議員  
井上ひろし事務所  
住吉区沢ノ町 1-10-11  
(電話 6673-3630)

相談受付  
午前9時半～午後5時  
(土・日・祝日は休みます)

2018年  
9月号

## 秋の大阪市議会が 9月5日からはじまります。

9月5日の市会運営委員会を皮切りに、秋の大阪市議会の論戦がスタートします。

大阪市廃止・分割構想とカジノ誘致を許さず、「市民のくらしや福祉にこそ光を」と、満を持して論戦に挑みたいと思います。

維新は、2度目の住民投票実施に固執し続けていますが、一度否決されたものを再び蒸し返すこと自体道理がないのは当然として、何よりも市民の関心は皆無に近い状態と言わなければなりません。制度いじりに明け暮れる政治に、市民は辟易（へきえき）としているはずです。

また、カジノ誘致についても市民の反発や嫌悪感は根強く、彼らの思惑通りに進んでいくとは到底思えません。結局ねらいは、夢洲を舞台にした巨大開発なのであり、「いつかきた道」を再びたどるような“税金のムダづかい”は世論と運動と論戦で絶対にくい止めなければなりません。

どの問題でも、市民の思いと維新政治との矛盾は激しさを増しています。

来年4月の統一地方選挙まであと約7か月、大阪市壊れムダな開発政治を許さず、「市民が主役」の大阪市を必ず取り戻す決意です。



カジノ  
ストップ!と  
訴える  
井上市議

## 大阪市の姉妹都市 シカゴ訪問記 No.2

シカゴ市の中心部に位置する、面積10ヘクタールの公園「ミレニアムパーク」も視察しました。

市民のための新しい“公共エリア”をつくりたいと、1997年当時のシカゴ市長が発案し、2005年にオープンした、独創的なアートや建築物が点在する、地元市民にも観光客にも大変人気の高い広場です。

私は、市民の憩いの場を行政が率先してつくろうという発想にとっても感銘したので、建設費用はどのような確保したのかを尋ねたところ、「半分はシカゴ市の税金、残りの半分は地元企業に寄付を募り建設しました。」という答えが返ってきました。

公共施設をつくるのに、地元企業に寄付を募るという手法にあまりなじみがなかったもので、さらに聞いてみると、地元企業に社会貢献を求めるといふ風土が歴史的に根付いているということがわかりました。

このヒヤリングを通じて感じたのは、企業に対し行政が一定の社会的責任を求めることの必要性です。大阪に限ったことではありませんが、日本の税制自体、大企業には減税に次ぐ減税で優遇税制をほどこし続けていますし、雇用の確保にも責任を求めないどころか、リストラも野放し状態。

日本もシカゴ市に見習って、儲かっている大企業に、応分の負担を納めてもらう、まともな税制改革を行うべきですし、大阪市も、市民が憩える“公共エリア”をつくることを考えるべきであり、カジノ建設に前のめりでは、かえって大阪の魅力を損ねるだけでなく、インフラ整備のための公金支出が市財政を圧迫するだけではないでしょうか。



ミレニアムパークの野外音楽場

### 9月の無料法律相談のご案内

毎月、きづかわ共同法律事務所の弁護士さんが来所して、ご相談にのります。相談は予約制です。当事務所で予約を受け付けていますので、必ずご予約下さい。

電話 6673-3630

受付 平日の午前9時半～午後5時まで。

9月5日(水)午後6時～

場所 住吉民主診療所

9月7日(金)午後2時～

場所 住吉民主商工会

※この相談のみ、申し込みは直接民主商工会へ

☎6694-8484

9月7日(金)午後6時～

場所 住吉生活と健康を守る会

9月26日(水)午後6時～

場所 生活相談所 苅田連絡所